



114
A5243

昨年十二月十六日臨時總會ニ於テ調査委員ニ附托相
成候第一第二第三號議案別紙之通同委員ヨリ修正報
告有之候ニ付右ヲ議題トシテ來ル廿七日午後一時ヨ
リ尙臨時總會相開候間御繰合御出席被下度此段及御
通知候也

明治三十一年一月十四日

華族會館事務委員長
公爵 徳川 家 達



今般御附托相成候第一第二第三號議案別紙之通り修正可決
致候仍テ此段及報告候也

明治卅年十二月廿六日

華族會館規則改正調査委員長
公爵 二條基弘

華族會館事務委員長

公爵德川家達殿

第一、第二號

華族會館規則

第一條 華族會館ハ 勅諭ヲ遵奉シ華族會同スル處トス

第二條 本館ノ職制左ノ如シ

一 館長 一名

館務ヲ總理ス

二 評議員 二十名

館長ノ諮問ニ應シ重要ノ館務ヲ商議シ及總會ニ提出スヘキ書類ヲ審査ス
三 幹事 二名

館長ノ指揮ヲ受ケ館務ヲ幹理ス

四 書記 若干名

會計及庶務ヲ分擔ス

五 雇員 若干名

雜務ニ服ス

第三條 館長評議員及幹事ハ丁年以上ノ會員中ヨリ公選シ其任期ハ館長評議員各一年
幹事二年トス

第四條 本館ノ資本金并ニ其收支ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第五條 總會ハ定期會ト臨時會ノ二トシ定期會ハ毎年二月之ヲ開キ臨時會ハ臨時必要
ニ應シ之ヲ開ク但提出スヘキ議案ナキトキハ定期會ト雖此之ヲ開カサルコトヲ得

第六條 定期總會ニ於テ館長ハ幹事ヲシテ前年度ノ收支決算及館務ノ成績ヲ報告セシ
ムヘシ但定期總會ヲ開カサルキハ報告書ヲ會員ニ頒布スヘシ

第七條 總會ヲ以テ決スヘキ條件左ノ如シ

一 諸規則改定ノコト

二 定額金増減ノコト

三 定額外費用支出ノコト

第八條 館長ノ權限ヲ以テ處分スル條件左ノ如シ

一 書記雇員ノ任免及黜陟ノコト

二 定額内金圓支出ノコト

三 總會ヲ開クコト

第九條 本館ノ祝日左ノ如シ

一 六月一日 會館創立日

二 十月七日 同 臨幸日

第十條 本館ノ休日左ノ如シ

一 十二月廿八日ヨリ一月五日マテ

二 大祭日

三 日曜日

第十一條 本館ノ分局ヲ京都ニ置ク其職制左ノ如シ

一 分局長 一名

分局ノ事務ヲ總理ス

二 幹事 一名

分局長ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ幹理ス

三 雇員 若干名

雜務ニ服ス

第十二條 分局長及幹事ハ京都在住丁年以上ノ會員中ニテ互選シ其任期各一年トス

第十三條 分局ノ祝日左ノ如シ

一 二月廿四日 分局臨幸日

二 六月一日 會館創立日

第十四條 分局ノ休日ハ本館ニ同シ

附 則

第一條 本則第三條中幹事ノ任期ハ初期ニ限り一ケ年ヲ以テ一名ヲ改選ス但抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 此規則ノ實施ハ明治三十一年三月一日ヨリトス

第三號

華族會館總會規則

第一條 總會ヲ開カントスルハ館長先ツ會日ヲ定メ會員ニ招集狀ヲ發スヘシ但定期會ニ在テハ十五日前ニ於テスヘシ

第二條 總會ニ提出スヘキ議案ハ招集狀ト同時ニ會員ニ配付スヘシ但緊急事件ハ此限ニアラス

第三條 總會ハ總會員十分ノ一以上出席スルニ非サレハ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 前條ノ場合ニ於テハ出席員ニテ假決議ヲナスコトヲ得然ルトキハ館長ハ其決議ヲ總會員ニ通知シ再ヒ總會ヲ開クヘシ

第二總會ニ於テ第一總會ノ假決議ヲ可決シタルハ之ヲ有効ノモノトス

第五條 總會ノ議事ニ於テハ館長ヲ以テ議長トス館長故障アルハ其指命ノ會員ヲ以テ議長トス議長會員ノ列ニ着キテ自己ノ意見ヲ述ヘント欲スルモ亦同シ

第六條 議長ハ議場ヲ整理シ議事ノ開閉停止ヲ宣告ス

第七條 凡ソ議案ハ三讀會ノ順序ヲ經ルヲ要ス但議場ノ可決ヲ得タルハ此順序ヲ省略スルコトヲ得

第八條 第一讀會ハ議案ノ大体ニ付討論シ第二讀會ハ議案ノ逐條ニ付審議シ第三讀會ハ議案ノ全体ニ付確定ノ決議ヲ爲ス

第九條 建議案又ハ議案ノ修正ハ二十人以上ノ賛成者アルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得ス

其他ノ動議ハ一人以上ノ賛成者アレハ議題ト爲スヘシ

第十條 發言セント欲スル者ハ起立シテ議長ト呼ビ及自己ノ氏名ヲ呼フヘシ

第十一條 議長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ發言スルヲ得ス又言論議題外ニ走り若クハ他人ノ身上ニ涉ルコトヲ得ス

第十二條 討論終局ノ動議ハ討論ヲ用ヒスシテ之ヲ表決ニ付スヘシ

第十三條 議事ハ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルキハ議長之ヲ決ス

第十四條 表決ハ起立又ハ氏名點呼若クハ投票ヲ用ユ會員ハ表決ニ條件ヲ付スルコトヲ得ス

第十五條 議案ノ調査若クハ起草ノ爲メ委員ヲ設クルコトヲ得其委員ハ議長ノ指定又ハ會員ノ投票ヲ以テス

第十六條 會員中未丁年者ハ總會ニ出席スルコトヲ得ス